

令和3年度 第3回環境審議会企画部会 委員意見対応表

資料4

番号	委員名	計画案該当箇所 (第3回企画部会資料)	意見内容	対応区分	回答	対応部局
1	千賀委員	p37	木材を利用するという意味では、それを切って、植林をして、CO2の吸収に役立てるというサイクルだと思うが、その辺のことが、専門外の人間にはどういうことで、それがCO2の吸収に対してプラスになるのかが、あまりよく分からない。	御意見を踏まえて、取り組む	間伐等の適正な手入れを行った森林は、樹木の成長が促され、CO2を吸収・固定します。また、主伐・再造林を行うことで森林が若返り、CO2の吸収・固定が活性化します。 伐採した樹木は、腐朽すると二酸化炭素を放出するので、木材として利用することも重要です。	森林整備課
2	千賀委員	p38	エリートツリーで静岡県が先進的であるということをよく知らない方もいるので、うまく広報をして欲しい。	御意見を踏まえて、取り組む	御意見を踏まえ、脚注を追加しました。 エリートツリー：特に優れた性質の樹木を選抜したもの。一般的なスギ・ヒノキと比較して、材積成長が1.5倍以上、強度が平均値以上、花粉量が50%以下などの基準に基づき農林水産大臣が指定。  また、SNSや県HPを活用し、県民の皆様へ情報発信を行ってまいります。	森林整備課
3	牧野委員	p44	策定中の循環型社会形成計画のキャッチフレーズ「捨てるを減らそう。活かすを増やそう。ふじのくにゼロエミッション。」を環境基本計画の中にも盛り込めないか。	御意見を踏まえて、取り組む	環境基本計画においては、環境基本計画全体の方向性を踏まえ、「資源循環の高度化」という副題を記載しているため、原案のとおりとさせていただきます。一方で、循環型社会形成に向けた取組内容については、循環型社会形成計画の内容とも整合を図りながら策定を進めてまいります。	環境政策課、 廃棄物リサイクル課
4	牧野委員	p60	本県は下水道、集落排水及び合併処理浄化槽等の施設の整備状況を示す汚水処理人口普及率は全国が、91.7%に対して、82.2%ということで、下回っており、あまり進展していない印象。 今回の計画の指標の中に、下水道処理普及率といった指標を盛り込んでいかか。	御意見を踏まえて、計画案に反映	下水道を含めた汚水処理施設を使える人口の割合である汚水処理人口普及率を本計画の進捗管理指標に設定しております。	生活排水課
5	牧野委員	p60	上水も下水も含めて、処理施設、配管も非常に老朽化が進んでいると考えている。 主な取組に計画的な生活排水処理施設の整備を推進しますとあるが、こうした内容は含まれるのか。	御意見を踏まえて、計画案に反映	御意見を踏まえ、表現を分かりやすくするため、老朽化が進んでいる設備等の改築・更新に関する記述を追記しました。	生活排水課
6	小野寺委員	p60	(4 牧野委員の意見に関連) 生活排水処理基本計画の委員もやっている。 県としても危機感をお持ちで、早めに計画を立てていたところに、国の方から全国で下水の普及をとという話があり、修正のところにも関わらせていただいた。 静岡県は持ち家も多く、中山間地も多いと言うことで、元々もっていた下水の計画がなかなか実施できていない。 ただ、すごく努力はされていて、私もこれは環境とすごく関わるので、こちらの方の計画にも指標を入れていただいても良いのではないかとはい申し上げたところ。	御意見を踏まえて、計画案に反映	汚水処理人口普及率を本計画の進捗管理指標に設定しており、計画的に生活排水処理施設の設備を推進していきます。	生活排水課

番号	委員名	計画案該当箇所 (第3回企画部会資料)	意見内容	対応区分	回答	対応部局
7	千賀委員	p29	県内の温室効果ガスの削減率の目標値の設定について、目標値は基準値に対する目標値だと思いますが、この基準値に対する目標値を一般に出した時に、社会に対してどのくらいの位置づけなのか、よく分からない。 数字が一人歩きしていて、46%と50%とどう違うのか、よく分からない。 例えば、パリ協定の話があるが、あれはたしか2010年比なんかで、基準にしているんだろうと思うが、色々な基準があり、そんな中でどこに持って行くという話があると思いますので、その辺の基準が社会的、世界的にどうか、それに対して、国内の動き、政治的なことも絡むと思うが、そういったものが分かるようなものを作っていただけると、県民の方が理解しやすいと思う。 かつ実現可能性、それから将来の2030年とか、COP26でも色々議論されているような話ともうまくすりあわせができるような資料になると、私自身は静岡県よくやってるなと評価してもらえと思うので、目標値を設定される時に、設定の経緯を分かるようなものを作っていただけないかと思う。	御意見を踏まえて、取り組む	パリ協定では、温室効果ガス排出削減の長期目標として、気温上昇を産業革命以前と比べて2℃より十分下方に抑えるとともに、1.5℃に抑える努力を継続すること、今世紀後半に人為的な温室効果ガスの排出を実質ゼロとすることなどが盛り込まれており、この実現に向けて、世界各国が温室効果ガス排出削減に向けた取組を進めているところです。  こうした世界の動きを踏まえ、国は、2021年10月に閣議決定した「地球温暖化対策計画」において、2030年度の温室効果ガスについて、2013年度比で46%削減する目標を掲げました。  上記のような世界、国の動向を踏まえ、県としては、国と足並みを揃え、2030年度の温室効果ガスについて、2013年度比で46%以上の削減とする目標値の検討を行っております。 また、目標値設定の根拠については、現在策定中の個別計画である「ふじのくに地球温暖化対策実行計画」において、有識者等の意見を踏まえ、設定根拠について議論を行っている所です。  脱炭素社会の実現には、産業構造や県民のライフスタイルの大きな変革を伴うほどの化石燃料消費量の大幅な削減が必要です。  いただいた御意見を踏まえ、県民、企業、団体の御理解を得ながら進めていけるよう、設定根拠を明確にし、取組を推進して参ります。	環境政策課 (地球環境班)
8	藤川委員	p56	指標として「地下水障害を発生させないための地下水利用可能量に対して、揚水量が下回っている」とあるが、これは「下回っている」が正しいのか。逆ではないのか。 わかりにくいので指標の再考をお願いしたい。	御意見を踏まえて、計画案に反映。	御意見を踏まえ、当該指標を「地下水条例対象地域のうち、適正揚水量を確保している地域数（達成率）」としました。	水利用課
9	藤川委員	p85	「新たに環境経営に関する制度に参加し取り組む事業者数」、「SDGs・ESGセミナーへの参加者数」の単位が「者」となっている。これは「人」ではないのか。	御意見を踏まえて、計画案に反映	御意見を踏まえて、「SDGs・ESGセミナーへの参加者数」の単位を「人」に修正を行いました。 「新たに環境経営に関する制度に参加し取り組む事業者数」については、事業者を対象としているため、原案のとおりとします。	環境政策課
10	井上委員	p29	企業も脱炭素に関する情報は特に欲しいと感じているのではないか。計画に載せるような話ではないが、企業向けの情報を集めたプラットフォームを県で整備してもらえると良い。	御意見を踏まえて、取り組む	今後の施策実施の際の参考とさせていただきます。	環境政策課
11	千賀委員	p74	youtubeなどを積極的に活用し、中学生くらいが分かるような内容で県の施策説明などをして欲しい。	御意見を踏まえて、取り組む	御意見を踏まえ、youtubeなど様々な広報媒体を使用し、県民の皆様にわかりやすい広報を行ってまいります。	環境政策課

令和3年度 第3回環境審議会企画部会 委員意見対応表

資料4

番号	委員名	計画案該当箇所 (第3回企画部会資料)	意見内容	対応区分	回答	対応部局
12	荒巻委員	p68	砂浜などの多様な自然環境の保全とあるが、浜松などでも防潮堤ができた。 その防潮堤は必要なものであるが、自然環境に与える影響と いうものを調査ができていれば教えていただきたい。	御意見を踏まえて、取り組む	浜松市沿岸域防潮堤整備事業においては、防潮堤の整備に際して、自然環境に大きな影響が及ぶことのないよう、地元・民間・学識・行政で組織する自然環境検討委員会にて環境調査の結果を評価し、環境保全対策を検討しました。 オオタカ、アカウミガメ、カワラハンミョウ、海岸湿地に特有な貴重種を対象にモニタリング及び対策を実施し、防潮堤工事は環境に大きな影響を与えていないことを確認しました。	河川海岸整備課
13	荒巻委員	—	子供達が体験している体験施設、青少年の家などが設置されてから、そろそろ50年を経過していて、施設も老朽化している。 それからフィールドの調査もずっとされないままで来てしまっている、これは教育委員会の管轄かと思うが、環境の方からも、少し環境調査であるとか、自然環境を調べるであるとか、あるいは使いやすさであるとか、そういうことが提案できるようになると良い。	御意見を踏まえて、取り組む	県立青少年教育施設については、設置後25～48年が経過し、建物や設備の老朽化が進んでいることから、中期維持保全計画を策定し、計画的に修繕を実施していく。 各施設では、周辺の自然環境を生かした野外活動や海洋活動等を提供しており、利用者が安全安心に活動できるよう、所員による定期的なエリア点検（実地踏査）や整備のほか、利用団体にも下見を依頼し、活動場所を把握していただいている。 このほか、三ヶ日青年の家では地元中学校と連携し、自然環境の調査や自然環境を生かした学習を実施している。 今後とも、魅力ある活動を推進していくとともに、安全対策に取り組んで参ります。	教育委員会
14	荒巻委員	—	若年層の環境意識の向上を図るためと、先ほどからも若年層の環境意識が低いとか、参加数が少ないというのが出ているが、実際に学生と話をすると、環境への意識は非常に高いと思う。社会のためになにかをしたいという意識は高いという印象。 ただ、生活者としての意識が低いので、自分の生活と環境というものがうまく結びついていない。なので、意見交換会などを設定される場合は、学生だけではなくて、生活の主体となっている人達をこの中に入れて、世代間の意見交換ができるとよい。	御意見を踏まえて、取り組む	御意見を踏まえて、施策を実施してまいります。	環境政策課
15	小野寺委員	p65	なぜ伊豆半島が消されたのか。伊豆半島はあってよいのではないか。	御意見を踏まえて、計画案に反映	御意見を踏まえて、伊豆半島 を追加しました。	自然保護課

令和3年度 第3回環境審議会企画部会 委員意見対応表

資料4

番号	委員名	計画案該当箇所 (第3回企画部会資料)	意見内容	対応区分	回答	対応部局
16	小野寺委員	—	佐鳴湖では、市民活動団体の方が頑張って、ヤマトシジミを育ててみたりとか、ゴミに関しても活発な活動をされている方、ちゃんと調査されている方とか、この十数年の間に育っている。 実際にはその目標値を達成するために努力するとは言いがた、浜松土木事務所や浜松市の方針としては、研究費にお金を出したりとかはできなかつたりとか、あるいは、市民研究者みたいな方達と連携して事業していくようなことをしないと、そういう活動もなくなってしまい、実際には、この数字でいいのかという風に市民方思ってしまう。本当に促進したいのであれば色々な形で連携したりだとか、お金のかかることもあるので、そういう所で連携できるような仕組みや姿勢が必要ではないか。	御意見を踏まえて、取り組む	佐鳴湖は、浜名湖に流入する河川であり、県では浜名湖を「ふじのくに生物多様性地域戦略」において、生物多様性の保全と持続可能な利用の視点が重要となる特徴的な地域の一つとして位置付けています。今後も委員の御意見を踏まえ、「佐鳴湖水環境向上行動計画」に基づき水環境改善に向けた取組を継続するとともに、生態系の保全も含めた総合的な環境保全の取組を推進するため、長期的な視点に立ち、多様な分野、多くの関係者が共鳴、共感して行動する仕組みづくりを進めてまいります。	自然保護課
17	千賀委員	—	自治体への周知徹底や協力体制をきちんと整備して、県全体として動けるような体制をとっていただきたい。	御意見を踏まえて、取り組む	環境政策の推進にあたっては、県内市町との連携は非常に重要であるため、毎年開催している各市町の環境政策主管課長会議等の場を通じて、各市町と情報共有し、連携して施策を推進してまいります。	環境政策課